

【おまけのおまけ】 ハエの作りかた

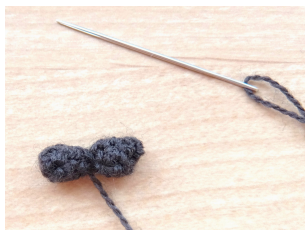
カニノツメを作ったら、ハエも止まらせてより雰囲気を出しましょう。

ハエは本体を毛糸で編み、羽は透明な樹脂を切って取り付けます。あくまで編みきのこのおまけですので、あまりリアルさは求めずゆるい感じに仕上げるのがよいでしょう。

まずは腹から胸、頭に向かって編みます。わの中に4目細編みし、2段目は立ち上がりなしで2目増で6目、そのままぐるぐると適当な大きさまで編み、最後の段は2目減で4目にして隣の目に引き抜き、穴を閉じて端糸を中に押し込みます。黒い糸は目がわかりにくいので、大らかな気持ちで編みましょう。

真ん中あたりと頭の近くを糸できつく絞り、目を赤い糸でフレンチノット刺繍します（写真は足を先に刺していますが、目を先にしたほうが作りやすいです）。

胸の部分に足を刺します。後ろ2対は抜けないように胸の中央で返し縫いしましょう。前の1対は手を摺る様子をイメージしながら結び、最後に先端をカットして長さを調整します。



【おまけのおまけ】 ハエの作りかた (つづき)

次は羽を作りましょう。羽の素材は透明な樹脂で、切り抜いたり穴を開ける際に割れにくい柔軟性のあるものであれば何でも結構です。

ちなみにここで使っているのは、たまたま家にあった熱収縮チューブという素材です。(ホームセンターなどで手に入ります)

実際のハエの羽は2枚に別れていますが、取り付けにくいので1枚にまとめます。

透明の樹脂板を羽の形にくり抜いたら、ハエに取り付けます。透明の糸を羽の左右中央に渡し、ハエの体に縫い付けましょう。

最後にハエをカニノツメに取り付けます。全体のバランスを見て取り付け位置を決めましょう。

ハエはカニノツメの先端にある、臭い粘液状の胞子に引き寄せられて飛んで来ますので、そんな雰囲気を出すようにするとよいでしょう。

